

# 研究大学のネットワーク化について

## 大学研究力強化 ネットワーク(25機関)

千葉大学  
東京農工大学  
新潟大学  
金沢大学  
福井大学  
信州大学

東京医科歯科大学  
電気通信大学  
豊橋技術科学大学  
神戸大学  
岡山大学  
広島大学  
熊本大学  
奈良先端科学技術大学院大学  
自然科学研究機構  
高エネルギー加速器研究機構  
情報・システム研究機構

名古屋工業大学  
山口大学  
九州工業大学  
首都大学東京  
東京女子医科大学

## 研究大学コンソーシアム (研究大学強化促進事業 採択機関：22機関)

北海道大学

筑波大学  
名古屋大学

早稲田大学  
慶應義塾大学

東北大学(※)  
東京大学(※)  
東京工業大学  
京都大学(※)  
大阪大学(※)  
九州大学

物質・材料  
研究機構(※)

## RU11 (11機関)

## WPI (9機関)

※：WPIアカデミーとして支援予定

## 自主グループの沿革

### (1) RU11(学術研究懇談会)

- 目的 国家の成長発展の鍵を握る研究大学の充実強化策について議論し、大学相互の連携を深める
- 発 足：平成21年11月
- 参加機関数：11機関
- 幹事機関：東京大学
- 最近の提言：「今後取り組むべき学術研究に関する施策について(提言・見解)」(平成28年7月8日)

### (2) 大学研究力強化ネットワーク

- 目的 大学・研究機関の枠を超えて相互の連携の推進を図り、個々の大学の研究力強化に資する
- 発 足：平成26年3月
- 参加機関数：25機関
- 幹事機関：自然科学研究機構
- 最近の提言：「大学ランキング指標に関する基本的考え方について」(平成28年3月30日)

## 今後の予定

- 研究大学強化促進事業の採択機関(22機関)について、採択機関のネットワーク化を図るため、自然科学研究機構を幹事機関として「研究大学コンソーシアム」を形成(平成29年度予算にて幹事機関を支援)。  
※適当と判断される場合、採択機関以外も参加
- WPIプログラムについては、補助金支援終了後の拠点をはじめとした我が国トップレベルの研究拠点に対し、WPIプログラムの優れた成果の最大化を目的とした支援を行う「WPIアカデミー」を平成29年度より設置。
- 以上の他、任意の自主的な動きとして、自然科学研究機構が中心となって、「NICA(自然科学大学間連携推進機構)」を発足させるべく準備中。

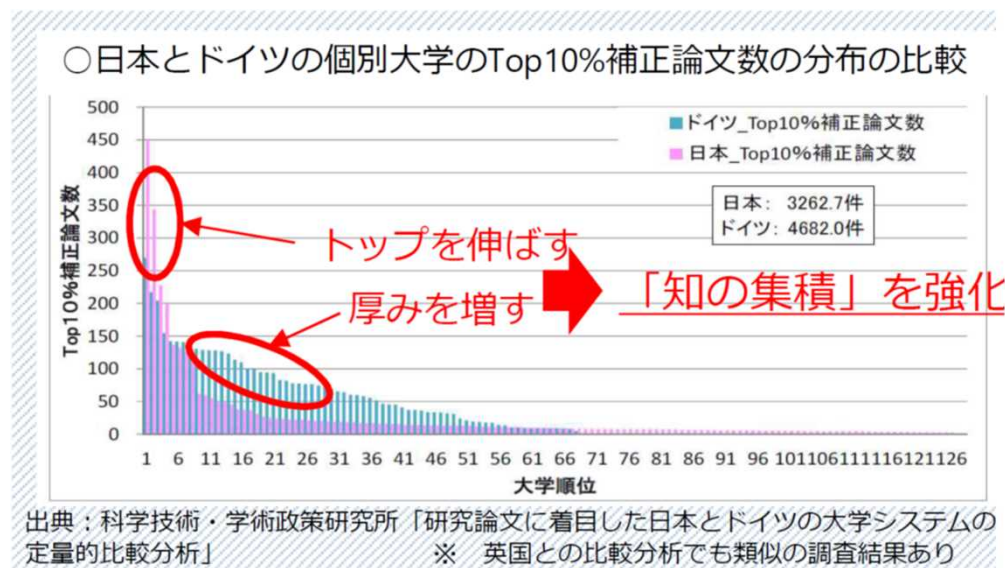


研究大学強化促進事業  
研究大学コンソーシアム  
について

自然科学研究機構

# 本構想の経緯(1)

日本の研究の現況として、トップ層だけでない研究大学群としての層の厚みが、日本における研究力強化の課題となっている(基礎科学力の強化に関するTF報告など)。



基礎科学力の強化に関するTF報告より引用(2017)

研究大学の層の厚みを増し、「知の集積」を強化することが喫緊の課題

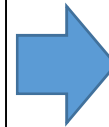
# 本構想の経緯(2)

平成29年度運営方針(「研究大学強化促進事業推進委員会決定(平成29年2月24日)」)

## 平成27年度フォローアップ結果概括

- 平成27年度に実施したフォローアップを通じ、以下の点が確認された(抜粋)。
  - ④ **特筆すべき進捗状況にあるとされた事例などを中心に、先導的な実践を広く普及させることが必要。**

文部科学省のリーダーシップのもと、  
**「研究大学コンソーシアム」**形成支援による  
ネットワーク化の推進



好事例の共有  
HPやシンポジウムによる情報発信  
など

- 平成29年度予算

### ○研究大学コンソーシアム

(22採択機関、幹事機関：自然科学研究機構)の具体的な活動を検討するため、連絡会等を設置予定。

#### 〈具体的活動例〉

- ・ 情報発信・共有のための各種コンテンツの作成・運用
- ・ WPIとの連携を含むセミナー・研究会、シンポジウム等の企画・開催
- ・ URAを含む研究マネジメント人材のキャリアパス形成支援プログラムの検討・実施 など

※文部科学省研究振興局学術研究助成課資料

「研究大学強化促進事業 ―平成29年度運営方針と中間評価以降の展望―」

(2017年3月30日)より

## 研究大学コンソーシアムの活動(1)

○研究大学強化促進事業22採択機関をメンバーとする  
研究大学の研究担当理事の集まりとして組織

- ・会議体での、好事例の共有
- ・HPやシンポジウムを活用した情報発信  
を行う。

あわせて、

- ・研究力強化の方策・体制の整備等に関する研究大学  
群として共通する課題について、必要に応じ文部科学  
省の関係部局も交えるなどして、俯瞰的に討議

## 研究大学コンソーシアムの活動(2)

### ○具体的な議論の内容例

- (1) 高度専門人材・研究環境支援人材の活用に関する討議
- (2) 研究分析指標・IR等共通する課題に関する討議
- (3) 国際連携・国際情報発信に関する討議

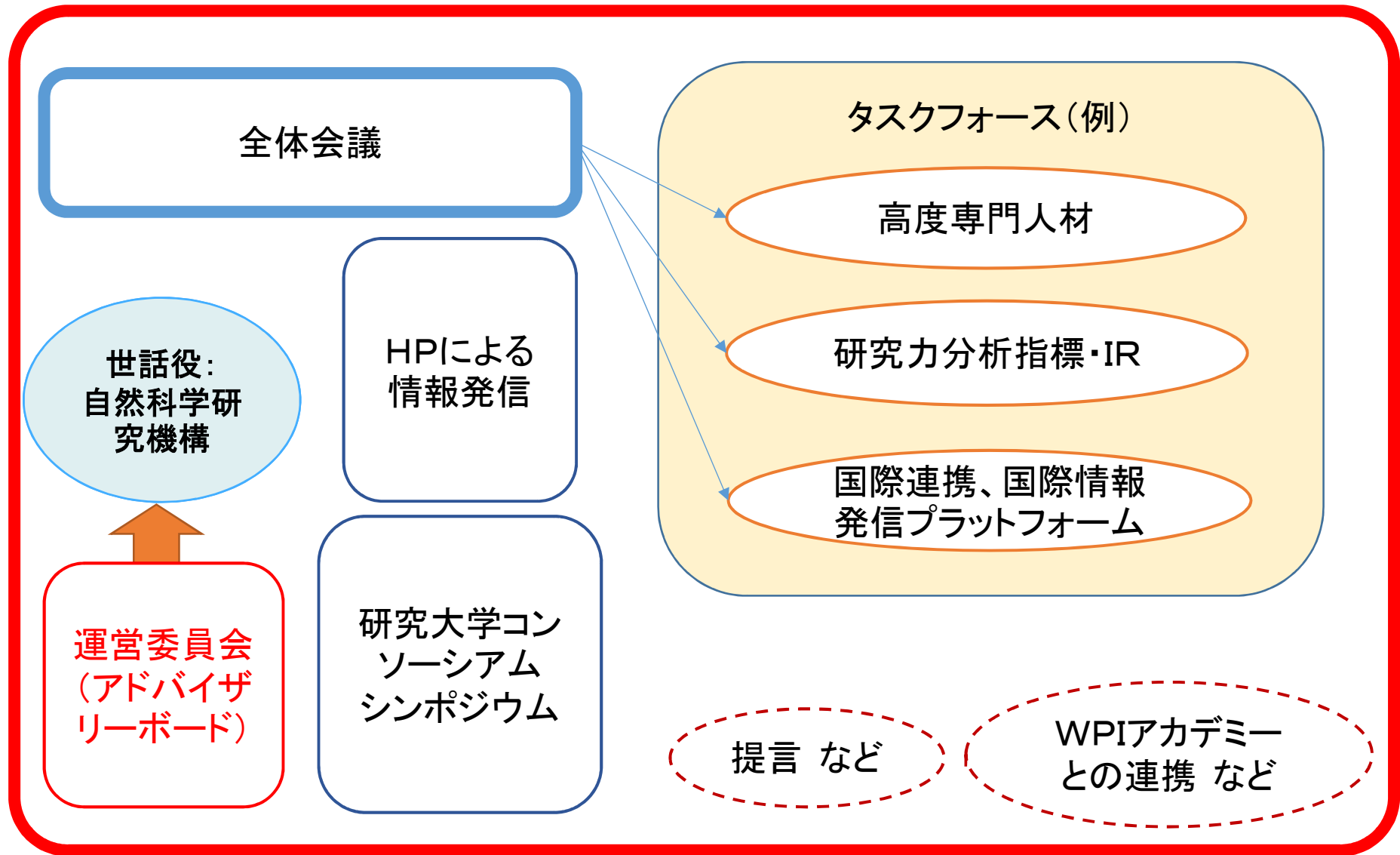
その際、WPIアカデミー等の研究拠点等の先導的な取り組みとの情報共有を含め、研究組織の向上化・活性化にむけた取り組みについて、横断的に議論する。

※討議の内容については上記内容例にとどまらず、必要に応じ、採択機関として共有すべき課題についても議論の対象とする。

### ○討議のためのTFの設置

上記の課題について討議を行うため、それぞれにより専門性の高いタスクフォースを設置し、研究担当理事のもと、URA事務局の連携により、実践することを検討する。

# 研究大学コンソーシアム



※幹事校を自然科学研究機構が担い、世話役を務めるとともに、議論に際しては、議長(専任)を置き、継続的な議論を行うようにつとめる。

※自然科学研究機構による運営にアドバイスをするアドバイザーリーボードとして運営委員会を設置予定。



## 研究大学コンソーシアム

文科省主導による、研究大学強化促進事業採択機関(22機関)により構成するコンソーシアム。

文科省の要請に応え、HPやシンポジウムによる好事例の共有、情報発信を行うとともに、採択機関に共通する課題等に関する検討の場(タスクフォース等)を設け、研究大学のネットワーク化の推進を図る。WPIアカデミーとの連携 等も。

### <参考> 大学研究力強化ネットワーク

研究大学の自発的なネットワーク。タスクフォースによる検討や提言などを行ってきた。

研究大学強化促進事業採択機関(22機関)ならびに「リサーチ・アドミニストレーター(URA)を育成・確保するシステムの整備」事業に取り組んでいる機関(15機関)の中の参加希望校で構成。